

付

## 特許・実用新案登録一覽

—昭和52年度—

№	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発明の名称	要旨
1	44-49887 (44. 6.24)	50-6449 (50. 3.14)	841358 (52. 1.28)	アクリル酸の蒸留における安定化法 (大槻 進, 堀 恭一, 宮之原 勲)	アクリル酸を含む系の蒸留における重合防止剤として, 1) ハイドロキノンモノメチルエーテルと 2) ベンゾキノンを蒸留系に存在するアクリル酸の全液量に対して合計濃度で50~5000 ppm (重量基準)の範囲で使用するとともに, 3) 空気又は酸素を蒸留系に存在するアクリル酸の全蒸気量に対して, 空気の場合0.1~10容量%, 酸素の場合0.02~2容量%の範囲で共用することを特徴とするアクリル酸の蒸留における安定化法。
2	46-60622 (46. 8.12)	51-18927 (51. 6.14)	843777 (52. 2.15)	1, 4-ブタンジオールの製造法 (木原 啓一, 石田 孝夫, 野中 悠次)	ブタジエン法によって製造した粗1.4-ブタンジオールにアルカリ金属およびアルカリ土類金属の水酸化物あるいは無機塩を添加して蒸留することを特徴とする水分の少ない1.4-ブタンジオールの製造法。
3	46-26061 (46. 4.23)	51-20559 (51. 6.25)	845175 (52. 2.22)	塩化ビニルグラフト共重合体の製造法 (小坂勇次郎, 鈴木 祐二, 植村 勝, 佐藤 真一, 斉藤 光高)	ポリエチレンワックスおよびエチレン系エラストマーの共存下で塩化ビニルを重合させることを特徴とする塩化ビニルグラフト共重合体の製造法。
4	46-34713 (46. 5.24)	51-20556 (51. 6.25)	845176 (52. 2.22)	光重合によるクロロブレンとアクリル酸エステル共重合体の製法 (井上 則男, 宮川 俊男)	金属ハロゲン化物もしくは有機アルミニウム化合物の存在下またはこれおよびバナジルクロライドの存在下で, かつ, 紫外線の照射下で, クロロブレンとアクリル酸エステルとを反応させることを特徴とする共重合体の製法。
5	46-34714 (46. 5.24)	51-20557 (51. 6.25)	845177 (52. 2.22)	光重合によるクロロブレンとメタクリル酸エステル共重合体の製法 (井上 則男, 大鶴 雅昭, 宮川 俊男)	金属ハロゲン化物もしくは有機アルミニウム化合物の存在下またはこれおよびバナジルクロライドの存在下で, かつ, 紫外線の照射下で, クロロブレンとメタクリル酸エステルとを反応させることを特徴とする共重合体の製法。
6	46-36704 (46. 5.29)	51-20558 (51. 6.25)	845178 (52. 2.22)	光重合によるクロロブレンとアクリロニトリルまたはメタクリロニトリルとの共重合体の製法 (井上 則男, 宮川 俊男)	クロロブレンとアクリロニトリルまたはメタクリロニトリルとを金属ハロゲン化物の存在下かつ, 紫外線の照射下で共重合させることを特徴とする共重合体の製法。
7	48-103916 (48. 9.17)	51-18452 (51. 6.10)	845179 (52. 2.22)	エチレン-酢酸ビニル共重合体の脱臭方法 (江村 徳昭, 渡辺 修三, 斉藤 光高, 柴田 泰二)	エチレン-酢酸ビニル共重合体に油溶性のアルキルアリールスルホン酸正塩および/または該塩基性塩を該共重合体に対して0.05~5重量%添加することを特徴とするエチレン-酢酸ビニル共重合体の脱臭方法。

No	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発明の名称	要 旨
8	45-122441 (45.12.30)	51-23009 (51. 7.14)	848371 (52. 3. 9)	乾電池	電解二酸化マンガンを0.2—10 wt% のアセチレンブラック又はカーボンブラックを加えて粉碎し、得られるカーボン含有二酸化マンガンを減極剤として使用することを特徴とする乾電池。
9	46-33292 (46. 5.19)	51-23995 (51. 7.21)	849454 (52. 3.19)	クロロプレンとアクリル酸エステルまたはメタクリル酸エステルの共重合体の製造法	クロロプレンとアクリル酸エステルまたはメタクリル酸エステルの共重合体を製造する方法において、重合触媒としてバナジルクロライドとアルキルアルミニウム化合物をモル比にて0.1~1.5の範囲にある触媒をもちいて、共重合することを特徴とするクロロプレンとアクリル酸エステルまたはメタクリル酸エステルの共重合体の製造方法。
10	47-21049 (47. 3. 2)	51-24999 (51. 7.28)	849177 (52. 3.19)	乾電池減極剤用二酸化マンガンの製造法	電解二酸化マンガンを希硫酸の存在下で微粉碎することを特徴とする乾電池減極剤用二酸化マンガンの製造法。
11	47-28972 (47. 3.24)	51-27239 (51. 8.11)	851716 (52. 3.31)	電解用極板	上方向に密に、下方向に移行するに従って疎に孔を分布させて設けた電解二酸化マンガ製造用陽極板。
12	47-38457 (47. 4.17)	51-1251 (51. 1.16)	852959 (52. 3.31)	接着組成物	不飽和結合が残存する炭化水素系樹脂とエチレン-酢酸ビニル共重合体との1:5~4:1の割合の反応生成物をアスファルトに2:8~9:1の割合で配合してなる接着組成物。
13	47-80885 (47. 8.12)	51-30804 (51. 9. 3)	855716 (52. 4.14)	熱転写体	$\beta$ -ピネン重合体、テルペン樹脂、水添ジシクロペンタジエン樹脂、スチレン-オレフィン共重合体、 $\alpha$ -メチルスチレン-ビニルトルエン共重合体、低分子量スチレン樹脂、ロジンポリオールエステル、水添ロジン、水添ロジンポリオールエステル、ロジンから選択された粘着化樹脂の少なくとも1種を10~60重量%と植物系ワックス、石油系ワックス、石炭系ワックス、合成低分子量ポリオレフィンワックスから選択されたワックスの少なくとも1種を5~50重量%と酢酸ビニル含量7~45重量%のエチレン-酢酸ビニル共重合体でメルトインデックス4~1000 g/10分のも10~60重量%と上記粘着化樹脂、ワックス、エチレン-酢酸ビニル共重合体のいづれかに親和性のある無機充填剤5~40重量%の混合物に適量の顔料を配合した熔融混合組成物をマーク状に転写ベースに印刷したことを特徴とする転写時に転写ベースの裏面から熱圧接する熱転写体。
14	45-119902 (45.12.28)	50-20047 (50. 7.11)	856273 (52. 4.28)	エチレンアミン類の脱色法	高次のエチレンアミン類をその塩酸塩の存在下に蒸溜することを特徴とするエチレンアミン類の脱色法。

No	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発 明 の 名 称	要 旨
15	42-6690 (42.10.6)	51-30041 (51.8.30)	859474 (52.5.16)	アルコールの製造方法	鉄カルボニルとアミンとの混合物或いはこれらの錯化合物を触媒としてメタノールまたはエチレングリコールの存在下にオレフィンに一酸化炭素と水素との混合気体を作用させることを特徴とする脂肪族第一級アルコールの製造方法。
16	48-25897 (48.3.5)	51-35435 (51.10.2)	859475 (52.5.16)	グラフト重合体の製造方法	エチレン-酢酸ビニル共重合体の塩素化物に塩化ビニルをグラフト重合させるにあたり、メタクリル酸エステル重合体または/およびその共重合体の存在下に塩化ビニルのグラフト重合を行うことを特徴とする透明性および耐衝撃性にすぐれた塩化ビニルグラフト重合体の製造方法。
17	48-25898 (48.3.5)	51-35436 (51.10.2)	859476 (52.5.16)	グラフト重合体の製造方法	ポリエチレンの塩素化物に塩化ビニルをグラフト重合させるにあたり、メタクリル酸エステル重合体または/およびその共重合体の存在下に塩化ビニルのグラフト重合を行うことを特徴とする透明性および耐衝撃性にすぐれた塩化ビニルグラフト重合体の製造方法。
18	45-113608 (45.12.19)	51-33172 (51.9.17)	861329 (52.5.30)	除草剤	有効成分としてシアン酸ソーダと 3, 4-ジクロロプロピオンアニリドならびに1-ナフチル-N-メチルカーバメートおよび/または 2-ナフチル-N-メチルカーバメートから成る混合組成物を茎葉処理に用いることを特徴とする除草剤。
19	47-54799 (47.6.3)	51-39670 (51.10.29)	861352 (52.5.30)	熱可塑性樹脂組成物	ゲル分を50%以上含み、平均粒子径 0.2 $\mu$ 以下であるクロロプレン重合体 30~70部の水性分散液中で、メタクリル酸メチル 20~90部、スチレン 55~10部からなる二種の単量体混合物を重合させて得られた三成分樹脂組成物 5~30部と塩化ビニル重合体又はその共重合体 100部を配合してなることを特徴とする塩化ビニル系樹脂組成物。
20	47-53009 (47.5.30)	51-42081 (51.11.13)	864705 (52.6.13)	ヘキサクロロ-1, 3-ブタジエンの製造法	1, 2, 3, 4-テトラクロロブタンと塩素を反応温度 400~600°C, 1, 2, 3, 4-テトラクロロブタンと塩素のモル比 1 : 2~20で反応させることを特徴とするヘキサクロロ-1, 3-ブタジエンの製造方法。
21	41-47038 (41.7.20)	45-27334 (45.9.8)	867006 (52.6.23)	合成沸石の製造法	ナトリウム源、カリウム源、ケイ酸源、アルミナ源、の Na <sub>2</sub> O, K <sub>2</sub> O, Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> , SiO <sub>2</sub> および H <sub>2</sub> O 成分の合計が、モルで表示して $\frac{K_2O}{K_2O+Na_2O} = 0.1 \sim 0.8$ $\frac{Al_2O_3+SiO_2}{H_2O} \times 1000 = 2 \sim 200$ $\frac{SiO_2}{Al_2O_3} = 0.3 \sim 2.1$ $\frac{Na_2O-Al_2O_3}{H_2O} \times 1000 = 0 \sim 50$ の条件を満足するように、上記物質を混合し、得られる混合物を 20~120°C に保持反応させることを特徴とする合成A型沸石の製造法。

№	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発明の名称	要旨
22	47-32567 (47. 4. 3)	51-43009 (51.11.19)	867741 (52. 6.30)	アルカリマールガムより金属アルカリの製造装置	上面が水平又は傾斜し、かつこの面上にせき又は溝を設けた固定金属板を陽極とし、この陽極板に対向した陰極板および陰極板と陽極板との間で陰極板に近接して回転する羽根を有する攪拌装置を設け、かつ前記陰極板をこの回転羽根の回転運動の軌跡面と平面的に一致するようにし、陰極板の前記軌跡面と一致しない部分を欠如させたアルカリマールガムより金属アルカリの製造装置。
23	46-58973 (46. 8. 6)	52-1436 (52. 1.14)	870355 (52. 7.13)	カルボキシル化重合体の合成方法	エチレン-酢酸ビニル共重合体の存在下、ラジカル開始剤を用いて無水マレイン酸とアルキルアクリレートとを共重合させることからなる無水マレイン酸/アルキルアクリレートのグラフト共重合体の合成方法。
24	47-6608 (47. 1.18)	51-8743 (51. 3.19)	870356 (52. 7.13)	水銀を含有する水素中の水銀の除去方法	フォウジヤサイトを銀イオンを含む溶液に浸漬させて得られる銀フォウジヤサイトの充填層に水銀を含有する水素ガスを通ずることを特徴とする水銀を含有する水素中の水銀を除去する方法。
25	48-59749 (48. 5.30)	51-47437 (51.12.15)	871917 (52. 7.20)	食品添加用セッコウ製造方法	クエン酸またはその塩とケイ酸またはその塩との共存下で、セッコウを晶析させることを特徴とする食品添加用セッコウの製造方法。
26	44-36070 (44. 5. 8)	51-30108 (51. 8.30)	871998 (52. 7.20)	水冷による押出延伸フィルム製造方法	円環状細隙を備えた口金から溶融した熱可塑性樹脂を上方に向けて連続的に押出して、上記樹脂から成る円筒状成形体を連続的に作り、これを上方に向けて進行させ、上記筒状成形体の中に芯体を挿入し、芯体を上記口金に固定し、芯体の周縁を水平に位置させ、芯体の上縁よりさらに上方まで水を貯溜させ、円筒状成形体を芯体の外周に沿って進行させ、これによって筒状成形体の内径を拡大すると共に、芯体の上縁よりさらに上方まで貯溜されている水によって筒状成形体を冷却することを特徴とする、水冷による押出延伸フィルムの製造方法。
27	48-51195 (48. 5.10)	52-1758 (52. 1.18)	872697 (52. 7.29)	塩化ビニルグラフト共重合体の製造方法	エチレン-酢酸ビニル共重合体と一般式 $\text{RCOOR}_1$ (ここでRは水素または炭素数1~6のアルキル基、シクロアルキル基、アリール基であり、 $\text{R}_1$ は炭素数1~8のアルキル基、シクロアルキル基、アリール基を表わす。) で示される化合物の存在下で塩化ビニルまたは塩化ビニルおよびこれと共重合し得る単量体混合物を重合することを特徴とする塩化ビニルグラフト共重合体の製造方法。
28	48-76137 (48. 7. 7)	52-1957 (52. 1.19)	872698 (52. 7.29)	カルボキシル化エチレン共重合体の製造方法	エチレン-酢酸ビニル共重合体の存在下、ラジカル開始剤を用いてフマル酸あるいはフマル酸と $\alpha$ ・ $\beta$ -不飽和カルボン酸の混合物、およびオレフィンとを共重合することからなる該カルボン酸/オレフィンのグラフト共重合体を含む重合体の製造方法。

№	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発明の名称	要 旨
29	46-10590 (46. 3. 3)	52-4543 (52. 2. 4)	875561 (52. 8.10)	2-ニトロシクロアルカ ノンの製造法 (山田 静夫, 佐々木博朗, 田中 哲夫)	シクロアルケンを二酸化窒素および酸素と反応 させ、該反応生成物をジメチルスルホキシドお よび/またはジメチルホルムアミドと接触させ ることを特徴とする2-ニトロシクロアルカ ノンの製造法。
30	47-8751 (47. 1.25)	52-4274 (52. 2. 2)	875562 (52. 8.10)	触媒充填装置 (柿原 佑吉, 田中 武司, 久富 義弘, 口石 修, 山村 正春)	内部が仕切り板によりマス状に区切られている 触媒ボックスおよび振動発生機からなり、各マ スの底面に充填管が接続している固定床多管式 反応器用振動型触媒充填装置。
31	47-28554 (47. 3.23)	52-5065 (52. 2. 9)	875563 (52. 8.10)	プラスチックの選別 方法 (大槻 進, 宮之原 勲, 水井 規雅)	ポリ塩化ビニルを含むプラスチック混合物を 切断、破碎あるいは粉碎し、それを二塩基性脂 肪酸エステルのスルホン酸塩類、ジナフタリン スルホン酸塩類、アルキル基の炭素数9以下お よびエチレンオキサイドの分子数30以下のポリ オキシエチレン硫酸エステル類、ポリオキシエ チレンリン酸エステル類、アルキル基の炭素数12 以下およびエチレンオキサイドの分子数15以下 のポリオキシエチレンエーテル類、アルキル基 の炭素数11以下のポリオキシエチレンエステル 類、アルキル基の炭素数11以下のソルビタンア ルキルエステル類、エチレンオキサイドの分子 数20以上のポリオキシエチレンソルビタンア ルキルエステル類、エチレンオキサイドの分子数 27より46のポリエチレングリコール・ポリプロ ピレングリコールエーテル類、脂肪酸ジエタノ ールアמיד類、アルキル基の炭素数12以下の 第4級アンモニウム塩類からなる界面活性剤 の群より選ばれた添加物を10PPM以上 10,000PPM以上溶解した食塩水溶液あるいは 塩化カルシウム水溶液中に浸漬して該プラステ ックス混合物よりポリ塩化ビニルを沈降分離す る方法。
32	47-29022 (47. 3.24)	52-5066 (52. 2. 9)	875564 (52. 8.10)	プラスチックの選別 方法 (大槻 進, 宮之原 勲, 水井 規雅)	プラスチック混合物を切断、破碎あるいは粉 砕し、それを脂肪酸塩類、高級アルコール硫酸 エステルナトリウム塩類、脂肪族アルコール磷 酸エステル類、二塩基性脂肪酸エステルのス ルホン酸塩類、アルキルアリルスルホン酸塩類、 アルキル基の炭素数9以下およびエチレンオキ サイドの分子数9以下のポリオキシエチレン硫 酸エステル類、ポリオキシエチレンリン酸エス テル類、アルキル基の炭素数12以下およびエチ レンオキサイドの分子数30以下のポリオキシエ チレンエーテル類、エチレンオキサイドの分子数 26以下のポリオキシエチレンエステル類、アル キル基の炭素数11以下のソルビタンアルキル エステル類、ポリオキシエチレンソルビタンア ルキルエステル類、脂肪酸ジエタノールアミ ド類そしてアルキル基の炭素数16以上の第4 級アンモニウム塩類からなる界面活性剤の群 より選ばれた添加物を10ppm以上10,000ppm以

№	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発明の名称	要旨
					下に溶解した水中に浸漬して該プラスチック混合物に含まれるポリオレフィンを浮上分離する方法。
33	47-116150 (47.11.21)	52-5936 (52. 2.17)	875565 (52. 8.10)	ポリ塩化ビニル球状樹脂の製造法 (大槻 進, 宮之原 勲, 水井 規雅)	硬質ポリ塩化ビニルの粒を転動あるいは流動させつつ加熱し, 150°C~190°C の昇温時間を1時間以内で行い, さらに 200°C~280°C の温度で熱分解することを特徴とする硬質ポリ塩化ビニルの球状樹脂の製造法。
34	48-9053 (48. 1.24)	52-3622 (52. 1.28)	875566 (52. 8.10)	凝集剤 (大槻 進, 宮之原 勲, 水井 規雅)	窒素数4以上のポリエチレンアミンとポリアクリル酸とを反応せしめて得られる生成物を成分とする凝集剤。
35	49-147650 (49.12.24)	52-3919 (52. 1.31)	875567 (52. 8.10)	$\beta$ 化 $\alpha$ 型半水石膏の製造方法 (佐藤 孝男, 井川 一成, 菊地 光雄)	湿式リン酸製造プラントより副生する $\alpha$ 型半水石膏ケーキを二分し, 一方の該 $\alpha$ 型半水石膏ケーキ100部 (以下重量部) に対し, 0.5部乃至2部の微細二水石膏及び0.05部乃至0.5部の硫酸第二鉄を加え二水化し, 他方の該 $\alpha$ 型半水石膏ケーキ100部に対し, 0.02部乃至0.1部のアルキルベンゼンスルホン酸ソーダを添加し, しかる後両ケーキを再混合し, ついで乾燥, 脱水することを特徴とする $\beta$ 化 $\alpha$ 型半水石膏の製造方法。
36	46-101464 (46.12.16)	52-5078 (52. 2. 9)	877752 (52. 8.22)	ポリエステル製造法 (小坂勇次郎, 吉田 敏郎, 秋元 明)	触媒として金属 (亜鉛[II], チタン[IV], パナジウム[IV], アルミニウム[III], スズ[IV]) アセチルアセトン塩を用いることを特徴とする環状酸無水物と環状エーテルとからポリエステルを製造する方法。
37	47-19645 (47. 2.28)	52-5079 (52. 2. 9)	877753 (52. 8.22)	ポリエステル樹脂の製造法 (小坂勇次郎, 吉田 敏郎, 秋元 明)	触媒として有機酸亜鉛塩とともに助触媒として5員環および(または)6員環からなる環状エーテル化合物を用いることを特徴とするアルキレンオキシドとジカルボン酸無水物とからポリエステルを製造する方法。
38	46-73848 (46. 9.23)	52-5475 (52. 2.14)	877773 (52. 8.22)	マンガン鉱石の酸抽出の際のろ滓の処理法 (大森 鉱一, 須藤 一)	電解法による金属マンガン又は二酸化マンガンの製造工程において, マンガン鉱石を酸で抽出するさい, 得られるろ滓を多量の水で処理し, ろ滓中に含まれるマンガン, 亜鉛, ニッケルなどの重金属イオンを押出し, ついで得られる抽出液に生石灰又は水酸化カルシウム又は水酸化カルシウムのスラリーを加えて前記金属イオンを洗でんさせ, その洗でん生成物を単独又はマンガン鉱石とともに硫酸抽出することを特徴とするマンガン鉱石の酸抽出の際のろ滓の処理法。
	44-49888 (44. 6.24)	50-6450 (50. 3.14)	882423 (52. 9.30)	アクリル酸の蒸留における安定化方法 (大槻 進, 堀 恭一, 宮之原 勲)	アクリル酸を含む系の蒸留において重合防止剤として, 1) ジフェニルアミンあるいはその誘導体の少なくとも一種と 2) ベンゾキノンあるいはヒドロキノノンモノメチルエーテルとを蒸留系に存在するアクリ

№	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発 明 の 名 称	要 旨
39					<p>ル酸の全液量に対して合計濃度で 50~5,000 ppm (重量基準) の範囲で使用するとともに、 3) 空気又は酸素を蒸留系に存在するアクリル酸の全蒸気量に対して、空気の場合 0.1~10 容量%, 酸素の場合 0.02~2 容量% の範囲で共用することを特徴とするアクリル酸の蒸留における安定化方法。</p>
40	47-23905 (47. 3.10)	52-11236 (52. 3.29)	882424 (52. 9.30)	粉体の含水率測定装置	<p>両端を封じ、その外周に複数個の孔を設け、かつ隔膜で覆った中空管、該中空管に接続し、これに乾燥キャリアガスを導入するキャリアガス導入管、前記隔膜を介して前記中空管外の粉体中に含有する水分および粉体間げき空間にある水分を拡散及び/又は移行させて得た湿潤キャリアガスを前記中空管より排出するキャリアガス排出管からなる粉体の含水率測定装置。</p>
41	47-51730 (47. 5.26)	52-9668 (52. 3.17)	882425 (52. 9.30)	ニトロシクロドデカンの製造法	<p>3-ニトロシクロドデセンを溶媒中で塩化水素の存在下にパラジウム触媒を用いて水素化することを特徴とするニトロシクロドデカンの製造法。</p>
42	47-64936 (47. 6.30)	52-9670 (52. 3.17)	882426 (52. 9.30)	2-ニトロシクロドデカノンを製造する方法	<p>aci-2-ニトロシクロドデカノンアンモニウムを芳香族炭化水素、ハロゲン化炭化水素、脂肪族炭化水素、エステルの中から選ばれる少なくとも1種の溶媒中で加熱して分解させることを特徴とする aci-2-ニトロシクロドデカノンアンモニウムから 2-ニトロシクロドデカノンを製造する方法。</p>
43	47-65434 (47. 7. 1)	52-9669 (52. 3.17)	882427 (52. 9.30)	1-ニトロシクロドデセンの製造法	<p>2-ニトロシクロドデシルアセテートを(1)~(4)に示す溶媒の群から選ばれる少なくとも1種の溶媒中で酢酸カリウムおよび/または酢酸ナトリウムを触媒として脱酢酸反応させることを特徴とする 2-ニトロシクロドデシルアセテートから 1-ニトロシクロドデセンの製造法。 (1) 炭素数 2~8 の飽和モノアルコール (2) 一般式 RCOOR' なる脂肪酸エステル ただし、R はメチルまたはエチル基 R' は炭素数 1~5 の飽和炭化水素残基 (3) 炭素数 4~8 の鎖状および環状エーテル (4) 炭素数 4~8 の脂肪族ケトン</p>
44	47-84607 (47. 8.25)	52-10409 (52. 3.24)	882428 (52. 9.30)	燃焼廃ガス中の塩素除去法	<p>塩素を含む燃焼廃ガスをまず水と接触させ、ついで亜硫酸ガスと接触させたのち水洗することを特徴とする上記廃ガス中の塩素の除去法。</p>
	47-94102 (47. 9.21)	51-47152 (51.12.13)	882429 (52. 9.30)	酸化イオウを含有する排ガスの脱硫法	<p>海水に石灰乳を加え、得られる水酸化マグネシウムを沈降させ、脱マグネシウム海水と水酸化マグネシウムスラリーとし、このスラリーを必要に応じて水又は海水で洗浄したのち、酸化イオウ含有排ガスと接触させ、このスラリー中に</p>

№	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発明の名称	要 旨
45					酸化イオウを吸収させて亜硫酸マグネシウムを含む水酸化マグネシウムスラリーとし、ついでこのスラリーを亜硫酸マグネシウム溶液と水酸化マグネシウムスラリーとに分ち、亜硫酸マグネシウム溶液を酸化して硫酸マグネシウム溶液とし、これを前記脱マグネシウム海水と混じまたは混じないで海に排棄し、前記亜硫酸マグネシウムと分離して得られる水酸化マグネシウムスラリーと混じて、酸化イオウ含有排ガスと接触させることを特徴とする酸化イオウを含有する排ガスの脱硫法。
46	47-114286 (47.11.16)	52-8861 (52. 3.11)	882430 (52. 9.30)	耐熱老化性および耐油性の良好なクロロプレ ンゴム組成物の製法	クロロプレナーメタクリル酸エステル共重合体をクロロプレンゴムに混和し、金属酸化物の存在下でキノンジオキシムジベンゾエートによる加硫を施すことによって得られる耐熱老化性および耐油性の良好なクロロプレンゴム組成物の製法。
47	47-118869 (47.11.29)	52-10734 (52. 3.25)	882431 (52. 9.30)	冷媒用組成物	塩基性ポリ塩化アルミニウムを用いることを特徴とする冷媒用組成物。
48	49-102951 (49. 9. 9)	52-9646 (52. 3.17)	882432 (52. 9.30)	1, 1, 1-トリクロル エタンの安定化方法	1, 1, 1-トリクロルエタンに環状エーテル類または飽和1価3級アルコール類とニトロアルカン類とチオシアン酸エステル類との3成分を組み合わせて添加することを特徴とする1, 1, 1-トリクロルエタンの安定化方法。
49	47-34824 (47. 4. 8)	52-13197 (52. 4.12)	883295 (52. 9.30)	ポリ塩化ビニルより活 性炭を製造する方法	ポリ塩化ビニルを窒素もしくは脱塩化水素分解に不活性な雰囲気中で、130°C ないし 350°C の範囲内を毎分 2°C 以下の昇温速度で加熱するか、または 130°C ないし 270°C の範囲内の一定温度で加熱して得た脱塩化水素分解生成物を熱処理することからなるポリ塩化ビニルより活性炭を製造する方法。
50	48-23147 (48. 2.28)	52-13534 (52. 4.15)	883296 (52. 9.30)	白色ゴム状組成物の製 法	末端に、ヒドロキシル基を有するジエン重合体の単独あるいは共重合体に塩素化シリカおよび場合によってはさらに不飽和結合を有するゴムを配合したものに成型加硫を行うことを特徴とする物理特性、耐油性の優れた白色ゴム状組成物の製造法。
51	47-26287 (47. 3.15)	52-10118 (52. 3.22)	883564 (52. 9.30)	アクリル酸製造用触媒	アクロレインを酸素或いは空気中で気相酸化してアクリル酸を製造する際に使用する(a)モリブデン酸塩、(b)バナジン酸塩、ならびに(c)チタン、鉄、アルミニウム、ビスマスの群から選ばれた一種類以上のリン酸塩から調製された触媒。
52	45-117450 (45.12.25)	51-10028 (51. 4. 1)	886191 (52.10.12)	廃水中の水銀除去およ びその回収法	水銀を含有する廃水を10を超えた pH で鉄分と空気とに接触させることを特徴とする含有水銀廃水中の水銀を除去回収する方法。



No	出願番号 (出願月日)	公告番号 (公告月日)	登録番号 (登録月日)	発明の名称	要旨
53	47-64934 (47. 6.30)	52-14729 (52. 4.23)	886192 (52.10.12)	非相分離性接着組成物	金属酸化物、油性フェノール樹脂、有機溶剤およびその他一般に使用されている添加剤からなるクロロプレン系接着剤において $X-Si \begin{matrix} /R_1 \\ -R_2 \\ \backslash R_3 \end{matrix}$ で示されるシラン化合物を添加することを特徴とする接着組成物 (ここでXはビニール基、メルカプト基、アミノ基またはエポキシ基を1個以上もつものであり、R <sub>1</sub> 、R <sub>2</sub> および R <sub>3</sub> はハロゲン炭素数1~8個のアルキル基、メトキシ基、エトキシ基、β-メトキシエトキシ基またはアセトキシ基であり、R <sub>1</sub> 、R <sub>2</sub> および R <sub>3</sub> の少なくとも1個はアルキル基でないものである。)
54	47-108549 (47.10.31)	52-16478 (52. 5.10)	886193 (52.10.12)	ニッケル製錬鋅滓の利用方法	ニッケル製錬鋅滓を濃度4規定以上の塩酸または濃度6規定以上の硫酸によって、45°C ないし該酸の沸点の温度範囲で処理してマグネシアを抽出し同時に含水固体けい酸を生成させることを特徴とするニッケル製錬鋅滓の利用方法。
55	49-68742 (49. 6.18)	52-15301 (52. 4.28)	886194 (52.10.12)	加工性の良好なクロロプレンゴム組成物の製法	クロロプレンゴム85~15重量部とヒドロキシル基を有するエチレン-酢酸ビニル共重合体15~85重量部とを混成し、この混成ゴム100重量部に対して0.5から8.0重量部までのシクロヘキシル基を含むジイソシアナートを添加して共加硫を施すことによるゴム状弾性体の製法。
56	49-140562 (49.12. 9)	52-17872 (52. 5.18)	886195 (52.10.12)	エチレン-酢酸ビニル共重合体けん化物微細粒子の製法	エチレン-酢酸ビニル共重合体を飽和炭化水素-メタノール-水酸化アルカリ系を用いてけん化した後、HLB 値が10-18の長鎖アルコールエチレンオキサイド付加物で処理することを特徴とする、微粉末状エチレン-酢酸ビニル共重合体けん化物粒子の製造方法。
57	49-140561 (49.12. 9)	52-17835 (52. 5.18)	889279 (52.11.30)	石膏の製造法	塩化カルシウム水溶液と硫酸ナトリウム水溶液とを混合し反応させることにより石膏を連続製造するにあたり、別個に塩化カルシウム水溶液中に硫酸ナトリウム水溶液を注加することによって針柱状の微細石膏結晶を生成し、該微細針柱状結晶を上記両水溶液の混合反応槽に全生成石膏量の3%以上の割合で添加することを特徴とする針柱状の石膏を製造する方法。
58	47-91748 (47. 9.14)	52-19553 (52. 5.28)	891252 (52.12.24)	水銀を含む気体中の水銀の除去法	銀フオウジャサイトの充填層に水銀を含む気体(水素を除く)を通ずることを特徴とする気体中の水銀の除去法。
59	45-59644 (45. 7. 8)	52-18172 (52. 5.20)	891979 (52.12.24)	アリル位カルボン酸エステルの異性化法	液相でアリル位に1個又は2個の水酸基を有する芳香族基で置換されあるいは置換されない脂肪族又は脂環族のアルコールのモノ又はジカルボン酸エステルを異性化するにあたり、触媒として白金の塩素化合物を用いることを特徴とするアリル位カルボン酸エステルの異性体相互間の異性化方法。